

令和7年度 学校評価アンケートの結果報告について

初春の候、保護者の皆様には日頃より本校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、2学期末に実施させていただきました学校評価アンケートの集計や考察がまとまりましたのでお知らせいたします。1回目に行った結果と比較して見ていただけるように、前期（7月）と後期（12月）の棒グラフで表しています。自由記述では貴重なご意見をいただきありがとうございます。保護者の皆様からいただきましたご意見等は、今後の学校経営にしっかり生かしていきたいと思ひます。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。（アンケート結果と考察）

Table with 6 main columns: 番号対象, 設問, A そう思う, B だいたい, C あまり, D そう思わない, 考察・改善案. It contains 8 rows of survey questions and their corresponding results and observations.

9	低学年	そうじやくさひきは、だまっていっしょうけんめいできていますか。	前期		中・高学年の清掃態度は年間を通じて極めて高く、自律して取り組む姿勢が定着しています。課題であった低学年の肯定評価も、後期は75%へと向上しました。これは中・高学年と一緒に掃除の仕方を学ぶ機会を設けたことで、自立した姿勢に転換したことがうかがえます。活動の仕組みを変えた結果が実を結び始めたようです。保護者の皆様から見た「がんばりぬく子」への評価は微減していますが、学校では引き続き、清掃活動を通して心を磨き、最後までやり抜く強い心を育ててまいります。
	高学年	清掃や草引きの活動では、だまって、いっしょうけんめい、時間いっぱい活動していますか。	後期		
10	保護者	学校は、家庭や地域に対して情報発信に努めていますか。	前期		学校からの情報発信については、年間を通じて保護者の皆様から高い評価をいただいております。ホームページや各種お便りを通じたタイムリーな情報共有が学校運営への安心感につながっているものと分析しています。一方で、自由記述では「学校の様子が見えにくい」との声も一部寄せられており、教職員の自己評価も低下しています。今後は、全体への発信に加え、児童一人一人の頑張りにより具体的に伝わるよう、計画帳の活用や個別相談の機会を充実させ、丁寧な情報共有に努めてまいります。
	教職員	学校便りや学級便り等の各種お便り、ホームページ、学習公開（授業参観・学校行事等）等を通して、積極的な情報公開・情報共有に努めてきたか。	後期		
11	保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域人材を生かした活動をしていますか。	前期		コミュニティ・スクールとしての活動は、年間を通じて保護者・教職員双方から高い評価をいただいております。地域人材を活用した学習活動がより具体的に認知・評価されていることが伺えます。学校は地域に開かれた存在であり、児童の健全な育成に向けて多方面からご協力をいただいております。今後も、地域と共にある楠河小学校として、2学期に築いた連携をさらに深め、社会全体で子どもたちを育てる体制を強化してまいります。
	教職員	コミュニティ・スクールとして、教育活動を充実させるために、学校と保護者や地域人材が協働して児童を育てる学習活動を計画しているか。	後期		
12	保護者	お子さんは、学校用タブレットを有効に活用していますか。	前期		前期と後期のアンケート結果を比較すると、お子様が学校という集団生活の中で、自己を律し、他者と協働する力が着実に育っている様子が分かりました。 1. 規範意識と自律心の飛躍的な向上 最も顕著な変化が見られたのは「学校のきまりを守る」設問で、肯定的な評価が前期と後期で少し上昇しました。これは、2学期の運動会や学習発表会などの大きな行事を経て、集団の中でのルールや役割を果たす大切さを、児童一人一人が実感として学んだ成果と言えます。また、「助け合う子」への評価も89.6%から95.3%へと向上しており、単にきまりを守るだけでなく、周囲と調和しながら成長する姿が家庭でも認められていることが伺えます。 2. 学習スタイルの進化とデジタル活用 「タブレットの有効活用」については、肯定評価が71.4%と微増しました。西条市が推進するICT教育において、本校でもタブレットを単なる「道具」から、自分の考えを深めたり共有したりするための「学びのパートナー」として活用する段階へ移行しています。今後は情報モラル教育をさらに強化し、アナログな体験とデジタルの利点を融合させた「ハイブリッドな学び」を推進したいと思っております。 3. 地域・家庭との強固な連携 「家庭・地域との連携」については、9割を超える非常に高い水準を維持しつつ、後期には95.3%に達しました。コミュニティ・スクールとしての活動が2年目を迎え、地域の方々との関わりが児童の非認知能力（やり抜く力や協調性）を育む貴重な機会となっていることが、数値にも表れています。 2学期、担任がお子様の良さを計画帳にコメントするなどの試みに対し、「子どもの頑張りを見てくれていた」との温かいお言葉もいただきました。今後も、今回いただいた評価とご意見を羅針盤とし、「地域と共にあり、誰もが安心して通える楠河小学校」の実現に向けて邁進してまいります。引き続き、温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。
			後期		
13	保護者	お子さんの友達関係は良好ですか。	前期		
			後期		
14	保護者	お子さんは、「助け合う子」に育っていますか。	前期		
			後期		
15	保護者	お子さんは、学校のきまりを守っていますか。	前期		
			後期		
16	保護者	学校は、家庭や地域との連携を努めていますか。	前期		
			後期		
17	保護者	学校は、児童の安全や事故防止に努めていますか。	前期		
			後期		
18	保護者	保護者は、学校の活動に参加したり、協力したりしていますか。	前期		
			後期		
19	保護者	お子さんは、地域の行事・公民館活動・子ども行事・愛護班活動・地方祭など、進んで参加していますか。	前期		
			後期		

いつも楠河小学校のために
ご理解ご協力いただきありがとうございます。
今後どうかよろしくお願いいたします。



＜自由記述でいただいたご意見について＞

- ・毎日元気に登校する姿を親として嬉しく感じます。
- ・参観日や学習発表会、地域行事において、子どもたちが一生懸命に取り組んでいる姿が見られました。
- ・子どもが充実した学校生活を送っていることが、日々の様子からうかがえます。
- ・毎日楽しそうに学校に通っており、勉強や行事に対しても何らかの目標を持って取り組んでいます。
- ・担任の先生が笑顔で声を掛け、子どもたちを温かく見守ってくれています。
- ・担任が計画帳に学校での「よかったこと」をコメントしてくれるようになり、子どもをしっかり見ていると実感しています。

- ・教育現場でありながら教師自らが挨拶をしないことがありました。子どもたちのお手本となるようお願いいたします。
- ・子どもに対して丁寧な言葉での対応をお願いいたします。
- ・児童のけがに対し、保護者への連絡や声掛け、適切な処置をお願いいたします。
- ・事後の説明において、子どもの意見と食い違うことがありました。子どもとしっかりと向き合い話を聞いて、お互いが納得できる説明をお願いいたします。

保護者の皆様からの温かな励ましや、担任の細やかな見取りへの感謝のお言葉をいただき、教職員一同大きな活力を得ております。次年度も、一人ひとりの良さを認める称賛の言葉掛けや計画帳等での丁寧な情報共有を継続し、お子様が目標を持って楽しく登校できる、安心・安全な学校づくりに邁進してまいります。

貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいたご意見を真摯に受け止め、ご不安な思いをさせてしまっていること、心よりお詫び申し上げます。学校として今後、全教職員が自らの言動を厳しく律し、児童の模範となるよう率先して努めてまいります。また、威圧的な態度や不適切な言葉掛けを根絶し、一人ひとりに寄り添った温かな人間関係を構築します。差別的な言動や排除を一切許さず、全ての子どもが大切にされる公平な指導体制を厳格に守ります。また、けがの際の処置および保護者への連絡体制を再度確認し、迅速かつ確実な対応を徹底します。事後報告においても事実を歪めることなく、常に誠実な説明を行うことで信頼回復に努めます。今回いただいたご意見を全職員で共有し、保護者の皆様安心して大切なお子様を託していただける学校づくりに取り組んでまいります。何かご心配な点がございましたら、いつでも学校までご連絡ください。学校、地域、家庭が一体となって同じベクトルで子どもたちの教育に関わっていただければと思います。